

財務省第7入札等監視委員会 平成20年度第1回定例会議審議概要

開催日及び場所	平成20年 9月25日 (木) 金沢国税局大会議室	
委員	委員長 西村 茂 (金沢大学法学部 教授) 委員 尾島 茂樹 (金沢大学大学院法務研究科 教授) 委員 中村 明子 (松本洋武法律事務所 弁護士)	
審議対象期間	平成20年4月1日(火) ~ 平成20年6月30日(月)	
契約の現状の説明	・平成20年4月~6月の契約実績	
抽出委員の選出	委員の互選により尾島委員を次回抽出委員に選出。	
抽出案件	4件	(備考)
競争入札(公共工事)	1件	契約件名 : 金沢国税局電算室移設に伴う配線工事 契約相手方 : 北信テレネックス株式会社 契約金額 : 10,395,000円 契約締結日 : 平成20年5月14日 担当部局 : 金沢国税局
随意契約(公共工事)	-件	
競争入札(物品役務等)	3件	契約件名 : 金沢新神田合同庁舎常駐警備等業務 契約相手方 : 北陸総合ビル管理株式会社 契約金額 : 19,215,000円 契約締結日 : 平成20年4月1日 担当部局 : 北陸財務局
		契約件名 : 平成20年度国有財産調査業務委託(単価契約) 契約相手方 : 株式会社大和環境分析センター 契約単価 : 6,300円ほか (予定調達総額 : 9,345,000円) 契約締結日 : 平成20年4月8日 担当部局 : 北陸財務局
		契約件名 : レンタカーの賃貸借業務 契約相手方 : オリックス・レンタカー北陸株式会社 契約単価 : 3,465円ほか (予定調達総額 : 4,068,750円) 契約締結日 : 平成20年4月1日 担当部局 : 金沢国税局
随意契約(物品役務等)	-件	
応札(応募)業者数1者関連	2件	競争入札(物品役務等)の「金沢新神田合同庁舎常駐警備等業務」事案及び「レンタカーの賃貸借業務」事案に同じ
委員による意見・質問、それに対する回答等	別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

意見・質問	回答
<p>【契約一覧表の説明】</p> <p>契約一覧表の備考欄に分担契約と記載されているものについて、説明願いたい。</p> <p>電気の調達に当たり財務局では入札しないのか。</p> <p>国税局のデータエントリー業務の契約単価が、第1グループと第2グループで異なるのはなぜか。</p>	<p>合同庁舎には複数の官署が入居しており、庁舎全体に係るものは一括発注を行っている。契約書は連名で行い、各官署の負担は分担率により決定される。</p> <p>契約一覧表の契約金額欄は当局が負担する分担金額であり、備考欄の契約金額総額は合同庁舎全体の総額を記載している。</p> <p>透明性を図る観点からは入札する場合もあるが、ご承知のように当地域は電力供給できる業者は1者しかいない。</p> <p>法定資料など帳票の種類は多くあり、文字数の多少などにより入力するストローク数が帳票別ごとに異なるため、契約単価も相違する。</p>
<p>【案件 1】 「金沢国税局電算室移設に伴う配線工事」</p> <p>契約相手方：北信テレネックス株式会社 契約金額：10,395,000円 契約締結日：平成20年5月14日 担当部局：金沢国税局</p> <p>低入札価格調査において、上位2者が仕様書の内容の一部を見落としたことが判明し辞退したものであるが、辞退者が複数となることはよくあることか。</p> <p>業者の手落ちか、または当局の説明方法に問題があったのではないか。</p> <p>入札説明書の中で注意を促すなど、わかりやすい内容で説明すべきではないか。</p>	<p>今回見落とした内容は工事の中心となる部分であり、履行の可否に影響を及ぼす特異なケースであった。</p> <p>仕様書の文字のポイントがやや小さく見にくかったかもしれないが、入札説明会等で重要な事項はきちんと説明している。</p> <p>仕様書・入札説明書等の記載方法については、ご意見を参考に今後検討していきたい。</p>
<p>【案件 2】 「金沢新神田合同庁舎常駐警備等業務」</p> <p>契約相手方：北陸総合ビル管理株式会社 契約金額：19,215,000円 契約締結日：平成20年4月1日 担当部局：北陸財務局</p>	

意見・質問	回答
<p>当事案は応札者が1者であるが、どのような理由が考えられるか。</p> <p>落札率が75%であるが、積算はどのようにしているか。経費のほとんどが人件費であることから、人件費を抑えるなど業者が努力しているのか。</p>	<p>当庁舎の機械警備装置は、建設当時から警備業者所有の物であったことから、随意契約を締結してきていた。平成20年度に各入居官署において、警報装置の設置予算が認められたことから国所有の機械を設置し、常駐警備と合わせて入札に移行したものである。</p> <p>一般競争に移行した初年度ということもあるが、ローテーションを組んで警備するため警備員を7名確保する必要がある、他の業者は人的な対応が難しかったのではないかと。来年以降は公示期間を長く取るなど対応したい。</p> <p>当方の積算は、国土交通省の「建築保全業務労務単価表」の「警備員基礎単価」を採用し算定している。人件費が大半を占めるが、業者の努力の内容までは承知していない。</p>
<p>【案件 3】 「平成20年度国有財産調査業務委託(単価契約)」</p> <p>契約相手方:株式会社大和環境分析センター 契約金額 :6,300円ほか(予定調達総額:9,345,000円) 契約締結日:平成20年4月8日 担当部局 :北陸財務局</p> <p>単価契約であるが、調査対象数量の増減はあるのか。</p> <p>単価契約においては、それぞれの単価が異なって総額に反映されるので、予定数量の精度が重要と考えるが、どのように算出しているか。</p>	<p>仕様書において予定数量を明示しているが、増減が生じる可能性があることを記載している。単価契約といえども歳出予算の制限を受けることは当然のことであり、数量が増加する場合は予算示達額を超えないように十分注意する必要がある。</p> <p>確定している当局所有の財産に、各官署と引継予定時期を調整した財産を加えている。また、物納財産については、過去3年間の引き受け件数及び増減傾向を勘案して推定し、数量を算出している。</p>
<p>【案件 4】 「レンタカーの賃貸借業務」</p> <p>契約相手方:オリックス・レンタカー北陸株式会社 契約単価 :3,465円ほか(予定調達総額:4,068,750円) 契約締結日:平成20年4月1日 担当部局 :金沢国税局</p> <p>単価契約を実施しているが、応札者が少ないのはどうしてか。</p>	<p>レンタカー会社は他にもあり、前年度までは複数の応札者がいたが、20年度は応札者が1者となったものである。仕様書の内容については従前と変更はない。</p> <p>推察だが、一般的な料金と比較すると、落札実績のある現契約者の単価が安く、他の業者が太刀打ちできないのではないかとと思われる。</p> <p>今後、県別で調達するなど、更に競争性を高めるようことを検討したい。</p>